No. 82

				10.00	
	主	な	記	車	
新し	い農薬	につ	いて・	.,	1
イン	下蚕弁	業指	導報台	냨… …	2
	ら影				
卒	諭 抄) 録		•••••	5
会	員。近	2.沉	• • • • • • •	,	9

1958年10月 1 日

阳和33年10月1日発行

長野県上田市常入 信州大学繊維学部内 編集建築行人 小

編集並発行人 小山長雄

信州大学線維學部內 計 行 所 社団法人 干曲会

昭和31年6月18日第3種郵便物認可

毎月1日発行

定価1部15円

振替口座 長野 6243 東京 43341

新しい農薬について

京都大学教授 井 上 吉 之

本稿は去る9月7日当学部における日本学術会議第6部会のさいおこなわれた公開購演の要旨である。

農作物や生産物に被害を及ぼす昆虫類、ダニ類、更に鼡等の動物や植物を殺すのに用いる薬品を農薬という。

現在この農業という言葉は、広く用いられ抗性物質にまで 用いられる。農業経営上作物を保護する薬品を農薬というが 肥料までも農薬という場合もある。農業の使用者の側から見 れば、植物病理学も昆虫学も必要でメーカーの方から見れば 農薬化学又、粘着の面から見れば農薬物理学が必要である。

最近農薬には、めまぐるしい進歩があるが新しい農薬が進むべき方向を推察するには今まで進んで来た道をふり返って見る必要がある。

戦前戦後の主要農薬の比較

昭和14年		昭和31年	1
石灰硫黄合剂	15.8%	パラチオン	23.7%
硫 酸 銅	11.9	B fi C	16.6
砒 酸 塩	10.8	水銀剂	14, 1
除虫菊粉及製剂	9.9	D D T	3.8
生 石 灰	8.5	砒 酸 塩	3, 4
硫酸ニコチン	5.6	24 — D	3.3
その他	37,6	その他	35.1

この表で戦前は、天然資源よりとるものが多かったが、戦後はパラチオン、BHC、水銀剤などのしめる量が多くなった事が解る。

有機合成化合物は増加し80%位を占めている。これらは稲作用に進出している。

欧米では、戦争中有機合成に於いて著しい進歩を見せ、これらを輸入したのが、この戦後の新傾向の始まりである。日本は稲作の奨励によってパラチオンが速効的である事より用いられる様になったが、果樹園ではボルドー液の連用によって銅が多くなってしまうが、パラチオンはこの欠点がないため用いられる。

DDTは23年に国産化され32年には707 t, BHCは27年 に国産化されてBHC粉剤の方が32年に38,536t, 同乳剤が 529t生産された。パラチオンは29年に国産化され32年にはパ ラチオン粉剤が16,263t, 乳剤の方は785t と長足の進歩を示 している。

EPNは現在国産の計画をしているのみであるが、マラソ

ン乳剤はツマグロヨコバイの駆除に用いられるため,来年当りより増加すると見られている。生産を用途別に見ると,殺菌剤中最も多く生産されているものは,水銀粉剤 43,327tで次いで銅水銀剂,銅水銀水和剤,水銀製剤,ジネブ水和剤,ファーバム水和剤となっている。

除草剤では24—Dが最も多く1,307t,次いでクロロICP, MCPとなっている。燻蒸剤はクロールピクリン833tが最も 多く、次いで臭化メチル, D—Dとなっている。

又31年の輸入実績を用途別に見ると、殺菌剤ではジネブ剤 49万ドルが最も多い。24-DSは1万ドル輸入されている。

水稲用と果樹野菜用農薬の生産金額の割合を見ると25年には29.7%が水稲用に用いられ、全生産金額の70.3%が果樹野菜用に用いられていたが、31年には63%が水稲に37%が果樹野菜用にと、25年と31年とでは用途別生産金額は反対になっている。

戦後の農薬の需要の特長は、まず農薬が水稲用に非常に多く用いられる様になった事である。BHCはウンカの駆除に、パラチオンは二化メイ虫に、又水銀剤はイモチ病に用いられ、稲作用の農薬の需要が多くなった現在、稲作技術の指導方針さえも変って来たのである。

新農薬が出現して来てから防除も徹底し、被害の80%は防除して来た。

以前1町歩当り.2石6斗のメイ虫による被害があったが、 昭和30年にはパラチオン剤の使用により1町歩当り8斗と被 害が少くなった。

現在農薬は、塩素剤、DDT、BHC、その他類縁の化合物を多く生産する方へと進んでいる。

ムラーは1930年DDTを合成し我国では23年より国産化され、30年には相当量生産している。有機塩素剤の大部分をしめるものはBHCで、DDTは13%をしめている。

又TDE, methoxychlor が現われリンゴのハマキ虫に効果を上げている。methoxychlor は温血動物に対する毒性が DDTの $\frac{1}{20}$ 位でBHCは温血動物に対する毒性に於いては, DDTより毒力が弱いが冷血動物には強い。rBHCは家庭で一般に用いられるが,二化メイ虫にもよい。ただし透過性がないのでこれに透過性が出来るとよいのである。

24-Dは米国陸軍の研究によるもので、爆弾の代りに用い て日本の稲作に被害を与えようとして作られたのであるが、 出来たものは禾本科植物には害を及ぼさぬものであることが 解った。これが24-Dの始まりであるが、現在24-Dの化合 物は37種位もあり、31年の我国の生産高は48600万円にのぼ っている。

ICPCはタマネギに、又IPCをテンサイの畑の禾本科 の雑草に用いる様に、相手により雑草駆除する方向に向って いるが、日本では未だここまで来ていない。PCP等微量で 効くものが必要となって来ている。

塩素剤中、トリン剤が新しく注目されて来たが、これは石 油化学の長足の進歩により農薬をも作られる様になったので ある。.

又塩化炭化水素系のクロールデンは、白アリの駆除に最も よい。ドリン剤は一般に安定であるため肥料又は他の農薬と 混ぜて使用してもよいが、ドリン剤は魚類に対する毒性が非 常に強く水田地帯では不向きである。

この様に石油化学の進歩が、農薬の進歩に及ぼした影響に は注目すべきものがある。D—Pは忌避剤に用いられる。D DTを用いていると、今度はダニが発生して来た。

米国では Sulphenone (R-242), Tedion, サッピラン等の 殺ダニ剤が用いられているが、日本でもこの必要がある。イ オウ剤もカリフォルニヤ州の綿の栽培に用いられている。

リン剤としては、最初 Tepp が用いられ次いでパラチオ ン、マラソン剤が用いられる様になった。

軟体のものに有効で人畜にも強い被害を及ぼす。

29年より国産化され80%をパラチオンがしめている。マラ ソン剤は、米国ではB17爆撃機で1エーカー当り 1/2 ガロン 撒布したといわれる程大がかりに用いられた事もある。ダイ アジノンはリンゴのダニの駆除に用いられる。

植物体が農薬を吸収し植物体全体が毒性をもつもの、浸透 性殺虫剤ペントックスーラなどが現われているが、更に放射 性同位元素が用いられる様になって同位元素を入れた化合物 を作る方向へと動いている。今後の農薬の問題としてまず考 え、研究しなければなら以事は次の事柄である。

- 1 低毒リン剤を考えること。
- 2 浸透性の殺虫、殺菌剤について考えること。
- 3 石油化学の進歩により新しく出て来たものに注意すべ きであること。
- 4 カイメン活性剤の問題
- 5 相乗作用の問題

報

大体以上である。

我国で外国のものを輸入すれば、パテントを取られるか ら、いずれにしても我国の農薬の進むべき方向として取らね . ばならぬのは、外国にパテントを取られぬ日本独自のものを 作らねばならないということである。(文責・編集部)

ド蚕糸業指導報告

Jammu & Kashmir州指導について

在 Ind Colombo plan 蓬羅專門家 亚 :IP īF Asia 協会蚕糸業委員会幹事長

- 1 本州は北緯32°3′から37°に跨り大部分 Himalaya 山 系の高山に囲まれ,気温,積雪状況等更に克く信州に似た地帯 が大部分で Ind に於ける一化性飼育地帯として有名である。
- 2 本州の蚕糸業は、桑、蚕種、繭、生糸等一切州政府が 専売統制しているのが特色である。
- イ 桑苗は政府が育成して之れを植付け、桑葉の採取も 枝を伐るにも、政府の許可を得なくてはならぬ。
- P 蚕種も政府で製造して無償配付するが掃立品種の選 択は養蚕家の自由とならず、政府の都合で押し付ける傾向が
- ハ 繭は一切良否を問わず、生繭 1 Mound (10貫目) 65Rs. (6500円)の均一値段で政府が買取る。
- ニ 生糸も政府工場のみで製造され民間の製糸は許され 820 V
- 3 本州の生糸年産額は (1956) 169.032 ポンドで全 Ind 産額の7.3%に当り、Jummu州20%Kashmir80%の生産比率 である。
 - 4 Jammu 州の生産額の少ないのは種々の原因があるが

- 就中宗教的な関係が大いに影響している。Jammu は不殺を 信条とする Hindu 教徒が多く Kashmir には moslin 教徒 (回教) が多い。 Kashmir は 1948 年 Ind 独立に際し西 Pakistanとに分轄された処であるが、分轄前は回教信者97% だったが、分轄後も尚75~80%は回教徒である。Kashmir州 Srinagar製糸工場(州内唯一のもの)に繭を持ち込む養蚕業 者は凡そ300名に1~2名位が Hindu 教徒で殆ど大部分が回 教徒である。
- 5 政府が統制している為めに私共が戦時中の統制で経験 した様に事業の改善進歩が拒まれている弊害が随所に見られ る。桑樹栽培,蚕種,製造,配付,検査,養蚕飼育,上簇, 繭の供出、乾繭、製糸法等々改善の余地が非常に多い。以下 各項について要点のみを記載する。
- 6 桑樹栽培:桑は道路沿い、河川の堤塘、山腹の傾斜 地。又は田畑の畦畔等に植えられ高さ数丈の大木となり中に は眼通り直径5尺に及び樹齢120年などと云うものが欝蒼と して繁茂している。1958年までに政府が植樹し始めてから72 年間の記録によると植樹数 532 万本と計算されるが現在全州

拶 御 挨

信大繊維学部長 林 貞

名学部長伊藤先生の信大学長えの御栄転に 伴い、私は八月二十五日計らずも後任繊維学 部長に併任されました。甚だ微力のものであ りますが, 前学部長の御方針を受けつぎ各位 の御協力を得まして, 重責を果したいと存じ

私は四十年の間当学園に過ごし, まさに最



슾

報

林学部長

後の段階に到つて居りますので健康を頼りに 精一杯学部振興に働きたいと考えて居りま す。伊藤先生には不日松本へ転居なされます ので朝夕御目にかかって御指導を願う訳には 参りませず御名残り惜しく存じますが、依然 として吾等の学長であられます。時折御来駕 も願い又集中講義も願われる事になって居り ます。先生の愈々御健勝にして御多幸ならん 事を同窓諸君と共に御祈り申し上げます。

一言就任の御挨拶を兼ね伊藤先生を送る詞 と致します。

に350万~400万本の桑樹があると謂われる。1年1回の枝の 伐採だから割合樹齢が長く70年位の桑樹が至る処に見受けら れる。政府の許可を得た養蚕家は高い樹に攀じ登り大斧で枝 を叩き落す。自分の土地に植えたものも政府の許可を得て葉 や枝を採取する。又余った桑は政府の許可を得た他人の養蚕 家が無償で勝手に取って行く。桑の品種は種が多く葉は小さ く収葉量は尠い。

7 蚕種製造:製造される蚕品種は殆ど欧州種及び支那種 の一化性純粋種で、日本から輸入したものは復製されるが 只, 之れが日支の血統の混っている程度である。Jammu 州 には Bagdad-white が多く Kashmir 州には Chinese Golden が多い。 蚕種の輸入は従来 France からの輸入が主で (Italy も少しは入れている)あるが3年前から日本からも ボツボツ輸入されている。種繭は養蚕家が糸繭用として製糸 工場に供出した生繭の中から良繭を選び蛹を鏡検して後、種 繭に供される。

8 蚕種検査:蚕種の母蛾は歩合検査でなく全母蛾が鏡検 される。 然し鏡検に際し Preparate の調整に Alkali 液も cover glass も用いず、1枚の slide glass に5鏡面を作っ て検査している。而も微粒子のみならず軟化病も鏡検で除く と云っている。

9 養蚕:全地域が一化性の1年1回飼育である。飼育日 数は普通35~36日で,長きは45日を要している。1~2齢割 葉,3齢割芽又は全芽,4~5齢条桑育が多い。上簇法と云う特 別な蚕の移動は行わず熟蚕が見え始めると, 5齢条桑育の蚕 座上に青松葉や小灌木の青い葉のついた、枝や梢、及び藁、菜 種殼等を載せて自然上簇させる。養蚕家の掃立卵量は平均1 ounce (32g) で多きも2オンス少なきは0.5オンスである。 1オンスから生繭 1 mound (10貫) の収繭は豊作とされ日本 からの輸入蚕種は復製せぬものはF₁であるから生繭2mound とれたと大威張りの養蚕家に時々出会った。養蚕家の繭は 上,中,下,玉,一切混交で製糸工場に供出され良否を問わ ず 1 mound 65 Rupees が支払われる。上簇後8日目に収繭 され製糸工場に近い農家は麻袋に容れて生繭で工場に搬入し 直に看貫して現金が交附される。工場から遠い地方の農家は

収繭後3~4日間天火干燥して殺蛹し更に室内で約1週間風干 して凡生繭原量の 1/3 になった時工場に搬入する。此の干繭 は2 feet 立方(8立方呎)の桝一杯を生繭1 mound として取 扱われ直に現金が支扱われる。

10 繭の乾燥:繭の乾燥は殆ど大部分が天日干燥である。 Jammu 附近は気温が高いから2~3日で Kashmir は3~ 4で殺蛹出来ると云っている。Kashmir 州 Srinagar 工場に Italia 式箱型乾燥機が1基据え付けられて工場へ持込の生繭 が乾燥される。 1繰作が12時間を要するが大体 6 歩乾程度で 干燥不同が甚しい。此の繭が繭倉庫の金網底の棚に 4 inch位 にバラ積みされて爾後自然状況で干燥される。丁度往時の信 州製糸の繭倉庫と同一である。

11 製糸: Jammu に140釜 Srinagar に584釜の Italia 式 8緒直繰式の機械製糸工場があり生糸は全部此の両工場のみ で製造され他州の様に Chalka (座繰) は全然ない。 繰糸工 は全部男工で年齢平均40才。最高は60才で此の工場での勤続 40年繰糸経験35年と云う熟練工もあり又20才位の青年繰糸工 もいる。女工は選繭及び屑物整理に点々見える位である。職 工は繰糸,煮繭,糸継ぎ,生糸仕上,屑物整理等の各職種に 人員配置の一定比率があり, 又各職種の賃銀は職種別に一定 されている。年齢60才でも20才でも繰糸工は同一賃銀であ る。 繰糸工は1日8時間繰業して原料干繭 41bs-4oz から 生糸 1 lbs-1 oz を製造することに限定されている。

12 生糸生産費:生糸生産費は1封度当り,支払賃金7Rs, 補助材料費1Rs, 原料繭代12Rs即ち直接生産費 20Rs と推され る。その外に政府は桑苗育成費,植付及その管理補助,蚕種 の製造及び輸入その他に 1 封度当り 6.85Rs を支出している ので生糸1封度原価は26,85Rsとなり、 之れを1封度35Rsで 専売される。

即ち日本式に換算すると生糸1俵製造原価268,500円で之 れを1俵350,000円で専売されているのである。

以上が2ヶ月滞在して各地の政府機関即ち桑苗育成所,蚕 種製造所,養蚕所,製糸工場等及び農村養蚕家の実情を直接 視察調査して得た本州の実情である。今後幾多の改善策が講 ぜられることと信ずる。 (昭和33年8月2日記)

ば ら 談 義(つづき)

荻 原 清 治

9月の声をきくと信州高原は涼風が吹きはじめ、めっきり 秋らしい気配を感ずる。紫外線の強い清麗な気をうけて咲き 競う花々の色は目にしみるように美しい。真夏の暑さに打ち ひしがれていたばらもようやく勢をもりかえして、ローザリ アンの心を楽しませてくれる開花の準備を始めた。ばらの栽 培に最適の気候は気温15~20℃で乾燥していることである。 信州の秋はこの条件に最もよく合うので秋のばらは他所では 見られない美しい色と、強い香りをただよわせてくれるので、 信州の地はばら作りの天国である。こんな美しいばらはいっ たいどこで生れたのだろう。ばら研究家の本から探して書い て見よう。

東洋のばら

人間の歴史よりはるかに古いばらが人間に愛培されるようになり、人間の歴史にあらわれたのはそう遠くはない。ばらの原種が最も多く見出されるのは中国、イラン、シリヤなどである。ばらは分類学上次の三つに分けられる。

- ① 支那ばら……Rosa Judica, Lindi
- ② ベルシャばら……Rasa Persica, Michx
- ③ ダマスクばら……Rasa Damascana, Mill

こんなことからばらは東洋の原産と言うのが定説である。 当時の原種ばらはいまわれわれが見るばらとは似ても似つか ぬ原始的な貧弱な花を咲かせていたものだろう、いま歴史に あらわれたばらからたづねて見よう。

ペルシャ (イラン) のばら

ペルシャ語のばらと言う語は一般的な花と言う意味をかねている。イランのペルセポリスにある古代ペルシャの彫刻の人の首のまわりや建物の円柱にはばらがほってある。これらの遺蹟はばらをあつかつたものとして人類の歴史にあらわれた最初のものである。この年代はB.C.3000年でこの時代にペルシャ地方ではすでに人々がばらを愛培していたことがわかる。この流れはB.C.2000年頃から大帝国をつくって繁栄したバビロニヤに伝わり、首都バビロンの宮殿の庭々はばらが大がかりで栽培されていたようである。これからさらに西行してエジプト、ギリシヤ、ローマと渡って行った。

シリヤのばら

この地方のばらの原種はダマスクといわれている。旧約聖書雅歌第二章第一節に「われはシャロンの野花、谷の百合花なり」その他があり野花はばらを指している。またヘプライ王、ソロモンは(B. C. 1032)ばらを愛し、ジェリコにばら園をつくっている。旧約外典にばらを明記したものがありその中に「われはエンガデイの椰子のごとく、ジェリコのばらの木のごとく、崇高なものとなれり」とありジェリコはヨルダン地方の地名である。

インドのばら

インドもばら原産地の一つであり、ペルシャにつづいて発達した。インド三大神の一人ビシュヌが地上世界の創造神プラーマと蓮の美について語り、ばらの美をみとめさせた神話や、お釈迦様の伝説も興味深い、釈迦が出家した動機は「ばらは枯れてしまうとその香りはどこへ行くのか、美しさはどこ

へ行くのか」と迷ったためだと云う。

中国のばら

古代支那にはたくさんのばらの原種があり、これとペルシャから伝来したばらとが加わって栄えてきた。それぞれの時代の宮殿ではさかんに用いられ、また文学上にもたくさんつかわれた。李白(702~762)は

不向東山久 薔薇幾度花 白雲還自散 明月落誰家 (東山に向わざること久し、しようび幾度か花開く、白雲はまた自ら散じ、明月は誰の家に落ちん)その他司馬光、白楽天、魏公(韓)などばらを愛してうたった詩が多い。

日本のばら

天平勝宝七年(平城朝孝謙帝 755) 防人の丈部島 (ハセツ カベノトリ) は九州への出征にあたり受妻に

「美知乃倍乃(ミチノベノ)字万良能字礼職(ウマラノウ

レニ)波保麻米乃(ハホマメノ)可良麻流伎美爭(カラマ ルイミラ)波可礼(ヘカレ)加山加牟 (カニカム)』 と詠ったのが万葉集巻廿にあり大意は「路のそばに咲いてい るウマラ(ばら)の梢に絡まりついている豆の木のように, おまえは私にからみついてくるが、大君のためであるからふ りきって出征してゆかねばならぬ」と云う恋の歌である。こ れはわが国の文学にあらわれた最初のばらである。ここで言 うばらは日本自生の野ばら(第一期)で、その後、西紀 900 年ごろ支那から栽培ばらが渡来し(第二期)この頃からはじ めてソービ(薔薇)と言う語がもちいられ、 紀貫之 (905) が「われはけさ、さうひにぞ見つる花の色を、あだなるもの といふべかりけり」(原文のまま)と詠ったのが古今和歌集 に出ている。また枕草子、源氏物語、源平盛衰記、栄華物語 などにもばらをあつかった歌や記事があり、これらの作家の 生活していた宮廷ではばらの観賞のさかんであったことがわ かる、当時のばらはいづれも庚申ばらであったようだ。その 後も益々さかんとなり、現代迄文学その他にあつかわれた数

であつかっている。 伊藤伊兵衛 地錦抄 (1644) 伊藤伊兵衛 増補地錦抄 (1710) 平賀源内 物類品態 (1770) 貝原益軒 花譜 (1708) 貝原益軒 大和本草 (1708) 小野蘭 山 本草綱目啓蒙 水野之勝 花壇細目 (1670)

はおびただしい、近世では蕪村、一茶、嵐雪、子規の名も出

てくる。また著書としても次のものがばらを第一級の花とし

× × 「ばらは観賞用としてばかりでなく香料その他にもつかわれている。香料の主産地はイラン、ブルガリヤで今日では後者が最も盛んで香料採取は国営になっている程である。1~クタールから300万の花を採取し、これからわづかに1kgのエッセンスがとれるのだから1花からは0.1 恥がとれる。天然香料がいかに貴重であるかゞわかる。中国、西欧では除藤酒一玫瑰酒一ばら酒としてもちいられ、蛟瑰醬(バラジャム)ばら茶、ばらマンジウとしても珍重された。またばらの三杯酢、ばらの天ぷら(中国)ばらたばこ(英国)にもちいられ、インド、ペルシャではいろいろな薬用にももちいられたこ

報

第6回卒業生 卒 業 論 文 抄 録

会

曲

Ŧ

桑蚕と家蚕の交雑における遺伝学的知見

養蚕学科 遺伝学研究室 尾 崎 正 和

桑蚕の染色体数はn=27で家蚕より1個少いが,桑蚕の染色体1個と家蚕の染色体2個との間には親和性及び相同性があり(川口,1923),家蚕の染色体のうちの2個は桑蚕の染色体1個が切断して1個増加したものと考えられている。しかし現在のところ上述の分断された家蚕染色体がいずれの染色体であるかは全く不明である。そこで筆者は遺伝学的見地からこの不明な点を究明するために家蚕と桑蚕の変雑を行い次の知見を得た。

- (1) 第Ⅱと第Ⅳ, 第Ⅱと第Ⅵ, 第Ⅱと第Ⅸ, 第Ⅱと第Ⅺ, 第 Ⅲと第Ⅳ, 第Ⅳと第Ⅵ, 第Ⅳと第Ⅸ, 第Ⅳと第Ⅺ, 第Ⅳと 第Ⅳ, 第Ⅸと第겞, 郑Ⅺと第겞等の染色体は桑蚕染色体の 切断によって生じたものではない。
- (2) 桑蚕と家蚕の交雑による Z染色体と第 VI 染色体の関係について 2, 3 の実験及び考察を行った。

なお桑蚕と家蚕の交雑 F1においてまたま突然変異蚕を発見した。この個体は第10環節に過剰腹肢を生ずるものであって、この遺伝子は第VI染色体上に座位し、E複対立遺伝子群に属する。またこの突然変異は桑蚕の第VI染色体上+B座の変異に由来する。

家蚕卵色の生理遺伝学的観察並びにそれと関連する実用形質

養蚕学科 遺伝学研究室 髙 橋 邦 夫第1褟卵(b) 及びスペイン褐卵(SP-b···仮称)においては、3 hydroxykynurenineが母蛾から卵に移行する際卵管透過性が弱いために、十分に卵漿液膜細胞の着色が行われない。この卵管の3 hydroxykynurenine の透過性を支配する遺伝子の作用が、どのような機構で行われるかを 知る ために、先ず外界の条件の相違による 3 hydroxykynurenine の卵への透過量の差異を測定した。 蛹期 25° C 保護と紫外線 3 時間(化蛹 2 日目)の照射はこの透過を促進し、15° C と 2 時間の場合は逆に透過が悪い。遺伝子の支配をうける 3 hydroxykynurenine の卵管透過性は外界の条件によっても非常に動かされ易いことが考えられる。

またSP-bと第1白卵($\underline{w_1}$)及び第3白卵($\underline{w_3}$)との交雑 F_2 , F_3 における卵色異常分離を観察し,この SP-b 系統は $+\underline{w_1}$, $+\underline{w_3}$ 遺伝子の作用促進の働きがあると考えた。 淡墨(\underline{bd})と $\underline{w_1}$ (母体)との交雑 F_1 及び F_2 において白,黒及び混合卵蛾区が現われたが,この系統は鈴木(1936)による $\underline{w_m}$ 系統と同じように $+\underline{w_1}$ 遺伝子に対する変更遺伝子を持つと考えられる。 次に各種卵色突然変異相互の交雑 F_2 に分離した黒,褐及び白卵個体の実用形質を調べた。黒卵系統は産卵数多く,孵化歩合高く,孵化も速かでよく揃う。繭層重及び

繭層歩合も褐卵より稍優れる傾向にあるが系統によって異なり一概にはいえない。即ち、家蚕の実用形質の中には卵色によっても異るもののあることがわかった。

PMF, 石灰硫黄合剤, ソイド及びバルサール の蚕に対する影響

養蚕学科 蚕体病理学研究室 今 村 理 則

最近、各方面より柔病防除の必要性が叫ばれ、本年度から 実施される5ヶ年計画にも農業補助金を交付する計画がもり 込まれている。それに呼応して対柔病防除剤として種々の新 薬剤が発見され、またそれら薬剤の効果の有無も検討されて いる。しかし柔病に大きな効果があるとされている薬剤にも それが蚕に対して如何なる影響を及ぼすかは未だ判明してい ないもの或はその試験が不充分であると思われるものが少な くない。そこで供試薬剤として次のものを用いた。桑胴枯病 に効くといわれているPMF、桑の赤渋病及び胴枯病に効果 のある石灰硫黄合剤、裹白渋病に効くソイド及び桑病に対し てまだ効果が明らかでないバルサールの4つの薬剤を桑葉に 撒布した後、一定期間を経て撒布桑葉を蛋に連続給与しても 薬害が現われないかどうかを試験し、次の結果を得た。

即ち、PMF (3000倍液) は撒布桑葉を 5 令蚕に連続給与した場合、3週間を経過した桑葉は勿論、2週間を経た桑葉でも3、4 回の降雨があれば蚕には害がない。石灰硫黄合剤(100倍液) は撒布後 1 週間経過した場合 多少の害はみられるが、2 週間以上をたてば蚕に連続給与しても害はない。ソイド(300倍液)及びバルサール(100倍液)は撒布後 1 週間以上を経れば害がない。

桑蚕その他2~3絹糸虫誘引腺の誘引物質揮 散過程について

養蚕学科 竹田研究室 田中毛佐三

桑蚕その他2~3 絹糸虫及び夜蛾等について誘引腺の誘引物質揮散過程を究明する目的のもとに、細胞組織学的に実験を進め、次の結果を得た。

- 1 桑蚕、樟蚕、トガリエダシャク、トモエガ及びヒメジャノメの誘引腺には、そのキチン層に明らかにキチン突起が認められた。従って、これらは誘引腺の誘引物質揮散過程に関する竹田の分類によるキチン突起通過型に属するものであることを明らかにした。
- 2 誘引腺の誘引物質揮散過程は、竹田の明らかにした誘 引物質の共通性による類縁関係と一致しないものも存在する。即ち、桑蚕以外のものは誘引物質の共通性による類縁関係と一致しない。
- 3 大水青, クワエダシャク等はキチン突起通過型に属するかキチン崩壊部通過型に属するかは決定出来なかった。

とがアラビヤンナイトその他の物語りに出ている。第二次大 戦中英国では食料に困り、1941年にはばらの果実を200 Tons も集め第一線の兵に送り栄養の補給をしたことは 当 時 有名 (?)な一つ話である。こう書いてくるとばらが人生の隅々 にまでとり入れられていたことにいまさら驚くのである。 物みなはうばらに紅の色や借る 昇る朝日もその色にして (6)

製糸学科 佐藤幸夫

浮沈法とは密度の大きな液体と密度の小さな液体とを混合し、そのなかに試料を浮遊させ液の密度を適当に調節すれば試料はその液中にあつて浮上も沈下もしない状態となる。そのときの混合液の密度を測定してその試料の密度とする方法である。筆者は浮沈法と従来多くの研究者により実験されているピクノメーター法、天秤法と比較した結果ピクノメーター法、天秤法では測定値のバラッキが極めて多く再現性の少ない方法であるのに反し浮沈法は極めて高い再現性を有することを明らかにした。またこの方法を用いて次のような結果をえている。

- 1 制料の微細間隙に液体を浸透させる方法のちがいにより見かけ密度に差を生ずるが長時間浸漬すれば一定値に収飲し差は認められなくなる。したがって密度測定には長期浸漬が必要である。
- 2 牽引凝固絹(テグス)の密度は伸長倍率の増加ととも に増大する。
 - 3 セリシンの密度はフィブロインの密度より大である。
- 4 絹フィブロインの密度は品種別にも繭層別にも差は認められない。
- 5 吸湿にともなって密度は変化するが吸湿率3~4%附近に密度の最大値のあることを確認した。
- 6 練滅率の増大によっても密度には変化が認められずほぼ一定値を示す。
- 7 野蚕フィプロインの密度は家蚕フィプロインの密度より小さい。これは野蚕糸の空隙率が家蚕糸より大きいためであろう。

黄繭絹布および白繭絹布の酸性染料吸着につ いて

製糸学科 山岸 照 武

実験に用いた絹布は黄繭多条繰糸, 黄繭座繰繰糸, 白繭多条繰糸, および白繭座繰繰糸を原糸として羽二重および縮緬を織布し、各々を本練および半練して用いた。

練滅率20%以上のものを本練とし10~18%のものを半練と した。

染料は silk scarlet を用い、助剤として醋酸および、滲 透剤を加えて染色した。

染着した染料はアムモニア水によって脱着して, 比色定量 した。

その結果,非常に僅かであるが,羽二重の方が縮緬よりも 染着量が大きいようであり,その他の条件による差は殆んど なかった。

第三ブチル基を有する合成繊維用染料の合成

繊維化学科 遠藤研究室 島 田 和 美

ナイロンやビニロンなどの疎水性繊維に対し、染料の染着性を高めるためには、染料分子中に疎水性部分が必要となる。そこで染料分子中に第三ブチル基を導入し或る程度の疎水性を染料に与えて、繊維への染着性を高め且つ洗濯堅牢度の向上を計り、一方では染色操作を簡単にするため、直接染料の性質を与えたいという点を考えて染料を合成した。

疎水性部分の中間体としてパラアミノ第三プチルペンゼンを用い, これをジアゾ化して他にカップリングしたり, 逆にカップリング成分としてみた。

①パラアミノ第三プチルベンゼン (アルカリ性) J酸。オレンジ色。②パラアミノ第三プチルベンゼン (アルカリ性) H酸。淡紫色。③パラアミノ第三プチルベンゼン (アルカリ性) (H酸 (酸性) 2.5ージクロルアニリン)。 青色。④日酸 (酸性) パラアミノ第三プチルベンゼン。淡褐色。⑤1ーアミノ・2ーナフトール・4ースルホン酸 (酸性) パラアミノ第三プチルベンゼン。黄色。⑥パラアミノ第三プチルベンゼン (酸性) 3.3'ージオキシベンジジン (アルカリ性) H酸。紫色。⑦パラアミノ第三プチルベンゼン (酸性) 3.3'ージオキシベンジジン (アルカリ性) (H酸(酸性) 2.5ージクロルアニリン)。紫色。⑧パラアミノ第三プチルベンゼン(酸性) オルトジアニシジン (アルカリ性) J酸。赤紫色。⑨パラアミノ第三プチルベンゼン(酸性) オルトジアニシジン (アルカリ性) (ト酸) 大ルトジアニシジン (アルカリ性) (ト酸) 紫色。 銀子アミノ第三プチルベンゼン (酸性) オルトジアニシジン (アルカリ性) (財政) 紫色。紫色。

これらのものの染色性を試験するため、ナイロンとビニロンを染色としてみた結果、その二者間では色調が幾分異るが上に配した色を呈した。大体の傾向として、ビニロンに比しナイロンの方が鮮かに染着している。

非イオン性界面活性剤濃厚溶液の粘弾性

- 繊維化学科 黑岩研究室 一小 池 明

非イオン界面活性剤はイオン性のそれと異なり、その濃厚溶液は非常に粘稠で、ゲルに近い性質を示すものさえある。近年非イオン界面活性剤が著しく有用なものとして出現するにおよび、この性質は、取扱上やっかいなことがあるので、業界における一つの大きな問題点として注目をひくようになってきた。本研究はこの現象の機構を窓明するために、親水基の平均重合度を異にする、ドデシルエーテル系およびノニルフェニルエーテル系非イオン界面活性剤計6種につき、それぞれ30~80%の濃厚水溶液の钻弾性を調べた。測定はオシレイショナルレオメータにより、Hatschek、Schwedoffの式を用いて、それぞれ粘性係数ヵおよび剛性率Gを求めた。

$$\tau = \frac{R}{4\pi l} \left(\frac{1}{{r_1}^2} - \frac{1}{{r_2}^2} \right) \qquad G = \frac{E}{4\pi l} \left(\frac{1}{{r_1}^2} - \frac{1}{{r_2}^2} \right)$$

粘性抵抗 Rおよび弾性抵抗 Eの求め方はリサージュ図法によった。

実験の結果次のことが明らかとなった。

- (1) 何れの試料についても、濃度増大につれて粘性は急激に増大し、溶液はゲル弾性を示すようになる。
- (2) η およびGの値は濃度とともに急上昇して,60%附近で極大に達し,後徐々に低下する。
- (3) 溶液がゲル弾性を示す傾向は、親水基の平均重合度 の低いもの程顕著である。
- (4) 但し、濃度に対するカおよび Gの変化は、親木基の重合度の高いもの程、従って水溶性の大なるもの程急激で、その極大値も大である。

これらの実験結果をもとに、非イオン界面活性刺濃厚溶液 の構造について種々検討した。

報



思い出の寄生木 (4)

静岡県 十九楽吐月峰

第1編 60年の不作

第3節 菩提山父母のもとに

。---(J) 2里の通学中のあれこれ

故山菩提山の山河草木は依然たる昔の 姿で八雄を迎えたのであった。小守のお 梅は嫁に行くので暇を取って居らず、姉 弟妹は十人を数え養蚕種採りで人は大勢 の山の中の大世帯の日常である。

相変らずウグイスもホージロも鳴き五 月には珍しいホトトギスの声も聞えて山 の中の静閑を覚える。更にはヒグラシの 声と共に夕涼みを懐んだ。他人飯の寄生 木の旅4年を終って生家の麦飯の味は又 格別だと云えよう。之は初めの内だけで あった。家恋し母懐かしの思いも日の経 つと共に何の変哲もなく薄らぎ1軒家の 孤独を歎き出し人懐かしく,反って万公, 亀公や熊ちゃを思い出した程だった。

いよいよ高等小学は2里離れた東海道 袋井宿の組合立山名高等小学で10銭の山 桐の下駄で朝6時出て帰りは春の日永で も夕方へとへとになって帰って来る,腹 ペコペコで大飯をたべた。

。 -- (タ) その頃の悪童の友

田舎育ちで町へ出れば人後れがして大 人なしく級友の尻について通学するので あった。この頃の友達は善友、悪友の多 くは一生つき合う人々, いつも印象に残 る同年層だったが近所では山崎良一,雪 信兄弟, 大橋肇, 早川二二, 山田半司, 山本勝平, 寺田村治など身近かな通学友 達でよく遊んだものだ。

この頃の覚えの二, 三を呼び起して見 ると, 朝山崎兄弟の宅え寄った所声は聞 えるが姿は見えず家の廻りを探すと便所 に2人居た。意外にも両人相反する方位 にシャガンで大便行進曲最中の奇態で之 は空前絶後の方式として後学のため「相 反性脱糞法」と命名してやった。悪友早 川二二がオ初さと云う16才の小娘に年 柄にもなく懸想して付文をしてヒジ鉄を 喰らって問題を起し之をモミ消すのに八 雄は一苦労してやったが以来一生恩を被 せた始末もあった笑話もある。

八雄の隣りの席に渡瀬信之と云う生徒 があったが, 少し読み方が不得手だった ので八雄は時々添え口をしてやった。

会

曲

孝明天皇がお亡くなりになって 国民は.....

ここで読みつかえて読本が出来なかった のは「悲」の一字であった。そこで八雄 は小声でささやいたらその通り渡瀬信之

国民は喜んだ

と発声した。受持の石黒先生は急に大声 で叱り出した。

天皇がおなくなりになって

国民が喜ぶか 大馬鹿者め……… と怒声教室中にヒビキ渡った。八雄は悪 い事を教えて口添えした事を後悔してこ の様な茶目は慎しむ事に方針を変えたこ とも思い出話である。

。 — (ル) 胃拡張で通学中止

疲かれて夕方は腹ペコペコ大食い,朝 は起き立てで少食,かくて胃拡張症に なって一学期丈で止め, 袋井駅近くの赤 尾と云う所で2間の借間をして兄弟3人 と老母をたのみ炊事係を作って半寄生木 生活が再来した。この2ヶ年の高等小学 の通学時代,自転車はどこでも1村に2 人か3人位のもので到底庶民大衆の乗用 車ではなかった。

父新兵衛は自転車党の1人で2里のボ ダイから袋井まで得々と乗って村人の羨 望の的であったが八雄はこの乗用の据分 けを受けられないので足のテクシー通学 で身体を損なった訳だった。



亡母いく代

亡父新兵衛

· ── (オ) 日霧戦争直後の情事と袋井小 町「新横笛物語」

対露戦勝日本は子供心にも大した景気 であった様だ。軍人様々で軍人株は昻騰 国民感謝の的, 尊敬, 英雄視されたのは 勿論であった。

軍隊の帰還は仲々短日月には片付かず 来る日も来る日も臨時軍用列軍は万才万 才の国民歓呼の声に迎えられて東海道線 を凱旋したものだ。

明治38年秋某月某日一列車の軍用列車 が袋井駅に停車した,約20分の停車で 地方有力者と共に愛国婦人会はヨリ抜き の美人娘をプラットホームに繰り出して いつもの様にお茶の接待をするのが例 であった。1人の青年中尉はウラ若い1 人の娘の差出す熱茶を受取りつつグット 呑み干し何気なくフィと相手の顔を見て タジタジとよろめき一足後へさがり穴の あく程見入った。やがて列車は発車の警 笛一声東上してこの場面は幕切れだ。

さてこの陸軍中尉は爾後, 日夜連日ウ ツウツとして楽しまず,夢に現にあの袋 井小町の顔が忘れ得ず, 恋の奴隷と化し た。家郷には「父帰る」と待ちわびる家 人子女もあったのは勿論のこと,然るに 恋のプラットホームの瞬間から中尉は滝 口入道の横笛に於ける執念か, ナイルの 河畔のエジプトに上陸したローマの遠征 軍の大将アントニーの王女クレオパトラ への恋物語にも比ぶべき恋の奴となり切 ったのである。かくの如き熱烈な恋心を 地で行き強引に踏み切ってこの「日霧戦 争直後の情事」は完成した。この軍国恋 愛実話軍人の花咲く頃を八雄は思い出草 として人生の行路色恋と云うものはそん なものかと10代の青少年時代の解し得ぬ ものであった。

青年中尉は出世街道を爆進して佐官と なり少将から中将に昇任して某要職の司 令官を拝命して他の同輩を追い抜いた稀 に見る幸運児, 軍人界羨望の的であった。

然し人生魔事多し折角の出世も昭和11 年早春2月の所謂2.26事件の突発により 責任上退官した後備役に編入された。一 方憂国の志士「右」の北一輝は国法に照 らされて極刑に処せられて刑場の露と消 えたことは未遂昭和のクーデターとして 今尚お国民の記憶する所である。

所で付け加えて置く事はことし(33年 8月19日) この「右」の巨頭北一輝の碑 石が有志者により東京目黒区下目黒の目 黒下不動尊滝泉寺境内に記念碑として除 幕式が行われ碑女

> 歴史は北一輝君を革命家として伝 えるであろう

と大川周明の名文が空を睨んで生きてい る。肉体は亡びたが魂は生きている。人 間の運命程判らぬものはない。

尚,元司令官中将はあれから二十年 「老兵は消えず」と肉体は風月を共にし ているが80才の今日機会を得てこの碑 文に接したとしたら感無量であろうこと は間違いない。そして「老兵は消えんと

す」と自吟することであろう。以上の小説 の様な実話の主人公は知る人で知る山川 勝一とその相思の妻朝子その人である。 - (7) 高等2年修業,中学へ

八雄は早くも2年の修業を間近かにして今後の方針をいかにすべきか。級友の中には農学校へ進むものと、中学校へ向うものは3人あった。

八雄は幼な心にも夢を少しは抱いていたのは弁護士志望が内心あって中学を志願した。それは伯父に法学士弁護士の新馬彦四郎が40才前後の若さで静岡市で開業していて法曹界,実業界でひと頃は飛ぶ鳥を落す勢いであったが子供心の八雄を刺激した有力な原動力になったのは事実の様に思われた。

兎に角隣町の掛川の県立中学校へ受験 して首尾よく入学許可を得て夢の第一歩 を踏み出すこととて一方ならず得意になって喜んだ。

この中学5ヶ年の生活は平凡であって も青少年時代の思い出としては沢山の問 題がある。

(おわび 編集者の手落により(4)と(5) が前後して登載されたことを筆者及び 会員の皆様に深く陳謝致します。)

一技術者のみた化繊産業に ついて

近 藤 高 男

現場技術者として,直接化繊産業にたづさわってはいるが,「化繊産業について」と云う大きな問題についてはかけそうもない。

従って、化繊産業と云う大きな池の中にいる一匹の蛙のように、化繊産業に対してはもっとも大きな関心をもっているものの一人として、盲人が象に触れて、主観的な判断を下した譬にも似て、気のついたまま書いてみる。

1 化繊産業の将来について 学生時代の記憶であるが, (1950年頃) その当時の繊維生産量中, 化繊の占める 割合は19%程度であるが, 50年後 (2000 年頃) には50%にはなるであろうと, 一 教授が語った。

私は毎年化繊産業のパロメーターとして興味深くこの数字をみて来ているが、6年後の1956年には合成繊維の増加を加えて21%になった。6年間に2%強の増加であるので、50年後の50%は望み蓮の感じを抱かせる。

教授の話も眉に唾をつけてきかなければならないと思われる方もあるかもしれないが、実際に細かく数字をみると、21世紀50%説についていろいろ考えさせられる点がある。

この6年間の品種別に増加した割合を みると次の表の通りである。但し,1950 年に対する1956年の増加率

人絹 20% スフ 50% 合成繊維 400% 綿 40% 毛 20% 絹 50%

上の表のように、全繊維が著しく増加しているが、合成繊維の400%は例がない。

ビスコース人絹及びスフについては、 すでにロール・バックがさわがれている ので今後の期待はやはりうすい。

戦後の雌伏数年にして、合成繊維の生産が緒についたことが、400%増加となった。

合成繊維の発展はこれからがみものである。合成繊維の設備計画が通産省の枠をかなり大巾に逸脱して、各社がしのぎを削って、新市場の開拓に活躍しているようである。人の夢は次から次へと生成発展する。夏の汗の悪臭をとる Perma-Chem. という薬品が販売されている。悪臭の原因となるベクテリヤを殺ろすと云う。ふくいくたる香を漂わす衣料、絹なりならずして、妙なる薬を奏でる衣料等々、人知れず気持をなごやかにしてくれる农料の出現も決して夢ではないかもしれない。21世紀の化学繊維産業は前途

洋々として続くことを期待する。

2 技術革新について

数年来騒がれている Innovation boom は神武以来の不景気をもたらしたという人もあるが、化繊産業における技術も素晴しい進歩をしている。

戦争による遅れを一挙に挽回し、更に 我々の手で次の飛躍を期する時代が来た ようだ。一寸したヒントやアイデアから 出発した特許出顧競争は各国共一日一時 を争っている。歯車の回転は加速度的に 寸刻も休まず目まぐるしく廻っている。

3 品質管理について

この問題についてもすでに大分前から とりあげられて、化繊産業内でも各部門 別には行われて来ているけれども未だに 全系統にわたる一貫した成果はきいてい ないが、ここしばらくの間には本格的な 成果がえられるようである。

4 マーケッティングについて

昨年からの化繊の生産過剰は日本に於ける最も代表的な操短をもたらした。

需要供給のバランスが国際経済の動き 或は市場調査の結果でどの程度まで保た れるかは 疑問であるけれども,少くと も今回の大巾な操短は,この方向の開拓 に拍車をかけたことは事実である。

私共現場技術者も,常に在庫量と生産 量のバランスが脳中にあって,生産計画 調整が夢にもでて来そうである。

5 企業内の人間関係について

化繊業界特有の問題ではないが、繊維 産業特有の保守的人間関係にも世代の変 化から一つのエポックの時代にある様に 思える。前にも書いた通り、全くの井の 中の蛙で知人といえば、同企業の人ばか りであって、一般の市井人との接触は殆 んどない。従って、公的な関係と、非公 式な関係とがきわめて難かしくなる。今 後の労資関係に於て最も問題となる点で あろう。我々は割切れるだけ割切ってお 互いに協調する様努力している。

(化9回卒 帝人松山工場)

蒲生 俊 興 両先生退官記念品贈呈資金募集中

本会報 No.79誌上にてお知らせしたように、表記資金を次の要領で募集中であります。千曲会員各位には御趣旨賛同の上応分の御出資を賜りますようお願い申上げます。

酸 金 要 領

- 1 醵出金 1口200円 口数は自由,必ず両先生別に明記のこと。
- 2 送金宛先 当学部于曲会内、蒲生・倉沢両先生退官記念会(振替口座 東京 43341)
- 3 締切 昭和33年11月30日

会員の近況

千曲会愛媛支会総会状況

春蚕が終って間もなく、校外実習生指導のため7月末頃に田口教授が愛媛へ行くので、その際に干曲会50週年記念事業について篤と懇談致したいから、総会の開催方について本会より連絡を受けたので、早速宮崎文会長さんに連絡し開催方を御顧い致した処、支会長さん御自身時期的に御多忙な時にもかかわらず、総会の開催について非常な熱意と御援助を頂き、久し振りに会合が開かれるようになったことを紙上を借りて厚く御礼を申上げたい。

当日の状況を報告致し愛媛支会員へ特に知ってもらい、今後のこのような会合への出席及び資金の募集について格段の御協力を願いたい。

開催場所 松山市道後 ホテル宝荘 (日光の間)

日 時 昭和33年8月3日午後2時 参集人員 15名

今回の総会には重要事項もあるので多数の御出席を期待して、開催日時も勤める人の都合など考慮して、田口教授の御出張の日程の変更などの御配慮も頂いて決定致し相当早くから依頼状を出していたのだったが、暑い季節ではあり、又学校の暑中休暇の時期で郷里への旅行を計画されている会員もあったりして、期待した人員の参集は得られなかったが、出席された方はほとんど各地方から出席され、熱心に討議されたので会の成果は充分得られた。

本日の総会々場に当てられた宝荘は、 宮崎支会長さんの経営になる、新築の国 際観光ホテルで近代様式の建築で全館冷 房、暖房等その他設備の完備しているこ とは四国第一と思われる。しかも泉都松 山の高台にあり、宝荘登山だね……と言って来会された方もあった位で、その見 晴のよいことは格別である。 2階にある 内湯の浴槽から松山全市が見渡される。 窓からは涼風が入り高原の野天風呂を思 わせるような感じの気持ちよいお湯で汗 を落し、軽いゆかたに着替え落着いた気 持ちになって会を始める。

先ず宮崎支会長さんの検拶があって直 ちに田口教授より用意して来られたプリントによって千曲会50週年記念事業に対 する経過、構想、これを達成するための 資金面について詳細な説明(8月1日付 干曲会報参照のこと)があった。特に資金の募集は事業完遂上第一要件で会員のみで負担する計画で、個人別の募集基準を卒業年次別に区分して、最低金額を決めてあって、その基準は下記の通りである。

Ŧ

個人募金規準額

大正3年~昭和7年卒業生 5,000円以上 昭和8年~昭和10年 11 4,500 昭和11年~昭和13年 11 4,000 11 昭和14年~昭和16年 11 3,500 11 昭和17年~昭和19年 11 3,000 11 昭和20年~昭和22年 17 2,500 11 昭和23年~昭和25年 11 2,000 17 昭和26年~昭和28年 1,500 昭和29年以後卒業生 1,000

以上個人別基準に基いて愛媛支会の募 集額を算出すると,

中 予地区 (13名) 51,500円以上 東 予地区 (43名) 39,500 // 北宇和地区 (6名) 25,000 // 八幟浜地区 (7名) 25,000 // 大洲, 東宇和地区 (3名) 11,000 // 群 42名 152,000 //

この金額は50週年記念事業資金として 愛媛支会の募金目標額であるが、かなり の負担額となるので各自早日に準備をし て頂きたいと思う、本会への払込期限は 昭和34年末であるので、支会としては会 費納入成績不良の不名誉挽回の意味から も此の資金は期日までに是非完納したい と思う。尚本会の都合もあることだろう と思うので, 実際募金出来る金額を今年 末頃までにはっきりしたいと思うので各 地区に於いての話し合いにはこの点に重 点を置き今秋役員打合せの頃にほぼ募金 可能金額を知ることが出来れば好都合 である。支会々員の皆様の特別な御理解 を得て母校の記念事業を是非完遂したい と思う。

ついで母校の近況についての御話しがあって後に、種々意見の発表が行われたが、要約すると50週年事業の計画は適切と思われるがあの程度の資金では事業活動が心配されるとの強い意見が出たが、それは計画の当初より論議されたのであるが現在の段階にしてはあの計画の程度にして、実際運営して見てその時の状況によって拡大して行く考えをもって居金を如何にして集めるかが実際の問題点で、これについては新に役員の増加をはかり、各地区に於いて会員の集合を行って、記念事業に対する意見を聞きその結

果を今秋頃持ち寄って支会として新に具体的な計画をたて期日までには支会の割当予定額は達成しようという事に決る。

次に千曲会費の納入成績で愛媛は非常に不良で他の支会との比較を数字的に説明があったが、これが原因について種々な要素があろうと思われるが、この際会費の納入も併せて行い良成績の部に入るようにしたいものである。会費納入不良の原因について私見として発表があったが非常に参考となる特に会費を終生納入する仕組を改め、或る程度の年限、会費の完納者はその後の会費免除の方法を考えるべきだとの意見があったが、愛媛のような支会にあってはこれが成績不良の大きな原因となっているのではなかろうか。

母校の近況については、最近卒業の若い方から大正 3年卒の方までの集りであるので、デルタの処に校門のあった時代を知っている者にとっては非常な変りようで、なかなか説明位で理解出来るものでない、少くとも写真位の説明が欲しいと思った。学制の改革により内容も多種となり、それにつれて校内設備も充実された母校の発展を祝福し、今後も一地方大学でなく繊維学部では日本の大学としての発展を祈る次第である。

近年定年制の制度により多数教授の勇 退があって古い卒業生特に愛媛のような 支会に属する会員には母校へのなつかし さも次第に薄れて行くような 気持がす る。この様な事を防止する唯一の方法と して毎月会報が発行されて他に見られな い強い連絡が図られているが,今回の様 に母校の先生よりその状況を聞くことは 会報以上になつかしいものがある。支会 総会等には必ず母校の先生の御出席を願 い尚数多く支会の会合を図ることが干曲 会の団結を強め自然会費の納入成績も向 上するのだと思う。

次いで支会々員の動静について簡単な 報告があり、選考委員によって新役員が 選ばれその結果を宮崎支会長さんより発 表し出席者全員の賛成を得て次の様に決 った。

支部長 内川 勇(敬称略)

顧 問 岩本市郎

" 波多野干里

幹 事 寺井子蔵(中予地区)

" 竹森克己(東予地区)

" 河淵益美(北宇和地区)

" 薬師神弁太郎(八幡浜地区)

Ŧ

工藤見吉 (大洲, 東宇地区) ついで内川支部長の就任挨拶があり支 部運営について一層活発な努力を払われ ることとなり、新役員によって先ず記念 事業資金の募集完遂に向って努力するこ ととなる。

(10)

No. 82

以上が大体会の模様であるが、それが 終了して懇親の会となる。始めて会った 会員も多数であるが旧知の如き雰囲気に なり、宮崎先輩の御招待に預った様な御 接待で、宝荘御自慢のお料理、お酒を御 馳走になる。又遠く北宇和から岩本先輩 苦労して総会のために御持参の名産鰻の 御馳走も頂き暑さも忘れ元気恢復の夕べ となる。

出席者の紹介

総会会員動静について報告のあった後 自己紹介があったが全部書くと長くなる のでその紹介を織り混ぜて当日の出席者 の横顔を記すこととする。(敬称略)

宮崎清治(大10, 蚕)学校の先生, 県 庁生活,満洲での貿易商,終戦後松山で 材木業,メリヤス製造業など多方面の経 験を得た結論として、現在の事業に到達 したどの強い信念を語られる、纏めれば 昭和の裏面史としてよき資料なるように も思われた。宝荘の新築には1億数千万 円の費用がかかり今後の経営を理想的に する為には尚増館の必要があり第2次計 画の話しも出て現在の事業に専心努力さ れている、その間の体験談を例のユーモ アさを混へての話し振り若い会員の参考 になる点多かった。それは真実を語って くれたからである。

〉波多野千里(大3, 盃)長い間学校長 とし愛媛の教育のために御尽力, 現在松 山市御幸町で孫を相手に遊々たる御生 活、俳句の国うたの国といわれる「松山 で, その方面の御造詣も深いと聞く, 静 かな環境で新な境地を開くべく精進され ておられる。

岩本市郎(大3, 蚕)学校の先生とし て県内の各地を廻られ、退いては郷里の 村長、農協組合長として指導に当られ、 その間旧時代の字和島警察の留置場に20 日位居たこともあるが、人間修能には大 変よかつたなどの話は、あの短軀に秘め た青年時代の熱烈な気魄が思い浮べられ るようだ。前会の時には美酒の秘伝を講 義をされたが、その後も故郷で静に美酒 を味って居られることであろう。

商岸健治(昭17, 化)松山の近くにあ

る東洋レーヨン松前 (マサキ) 工場に勤 務、中堅として活躍、不景気な繊維界に あって東洋レーコンのみは断然群を抜い た内容である(内川博士の証明)ことか らも活躍の様が思われる。仕事の余暇に は松山市へ度々足を延して居られたよう だ。

寺井子蔵(昭8,紡)東洋レーヨン松 前工場製造部次長として勤務, 昨年愛媛 へ転勤されて愛媛の土地には未だ浅いと の事だが,ねばり強い勤勉な御性格は愛 媛の土地柄を早く知り県民性もよく理解 し人的面の管理に好成績をあげられるよ よな型である。

工藤見吉(昭5,蚕)終戦で朝鮮から 郷里西条に帰ってから蚕糸関係に就職、 東より南まで県内の両端を廻って現在蚕 の中心大州肱川の河口に滞留, 初孫の可 愛さを味っている。

河淵 (コウプチ) 益美(昭6, 盃) 卒 業後長野県でしばらく先生をやり、愛媛 へ帰って来てから学校生活21年となる。 現在三間高校長として有名な勤務評定問 題のやかましい教育界で活躍中、貝一つ の自慢は夫婦合せて40余貫であることだ と謙遜されるが、白髮を混へた堂々たる 校長型。

中村孟夫(昭26, 糸) 宇和島の検定所 勤務、卒業以来宇和島のみの勤務である から、もう宇和島に根の生た頃だと思っ たのであるがまだだそうなので、河淵先 **輩に御心配願いたいと思う(同氏はその** 方面の経験も深い) 頭髪の生え際特に気 にかかるようになった。囲碁は師範の指 導を受けて居られる由。

室賀享(昭29, 学紡) 東洋レーヨン松 前工場勤務, 細緑の黒色の眼鏡の似合う 美青年,マージャンは得意のようであ る。 先輩の多い同工場で仕事に、環境に 適所を得て活躍中である。

薬師神弁太郎 (昭10, 糸) 蚕糸機構の 改革に伴って初代の蚕繭取締所長とな り、大いに外変的手腕を発揮している、 終戦後村の青年に推されて村長に立候補 したこともあったが現在は南子の中心で 蚕糸業のため専心努力中である。

須沢保夫(昭29, 学糸)酒六字和工場 勤務、酒六会社は南子に本社をもってい る一大会社で多方面に事業を拡張して居 り製糸についても宮田先輩の在社の際県 内で最初に自動線糸機の設備を行い、原 料に、繰糸に科学的な改善を行いつつ経 営を行っている。会社の期待にこたへて 不便な土地で仕事一辺の近況である。

黒岩君雄(昭10、紡)東津レーコン松 前工場勤務、同工場では中堅として活 躍, なお愛媛には同期の養蚕, 製糸, 紡 織が揃つて本日の会に出席、話題もはづ む、名から受ける印象とは全く異つた容 貌、職場では女性の人気も多いのではな かろうか。

小松茂男 (昭10, 蚕) 東洋紡四国山林 事務所長として字和島在勤、土地栖大番 の主人公に似たのではあるまいが、その 性格を思わせるような性格、学生時代系 道で錬えた体格は現在の仕事面にも大い に役だち, 山男を和手に山林経営に張切 つている。

内川勇(大15, 蚕)卒業後上田の試験 場に1年居て蚕がいやになって飛出した。 と言われるだけあって、蚕糸界はその活 動を充分に生すのにせまい。現在愛媛大 学の教授として生物学を担当されている が、労働委員長としての活躍が一般人に は通っている。あまり手広く仕事を広げ ていて,体がもてないので今後整理し, 本来の研究に支障のないようにしたいと こぼして居られたが、 甲子園の白球を思 わせるような活動、今日の会の出席も製 紙工場の争議を徹夜で調定, 時間にかけ つけたよしにて行動に, 発言に大衆指導 者型である。

田口売平 (昭5, 蚕) 本日の会に遠く 段校から出席されたのであるが、愛大農 学部の前身、松山農事、松山農大の時代 に教授として愛媛に居られたので準会 員に相当すると言われるだけに愛媛には 関係深い先生である。内川支部長とは松 山時代食料の不足な時代で同室でいもを かじりながら日本の将来を論じ合った話 しも出て、不自由であった時代を思い出 させる。又筆者と同期で修已寮の1号室 に若い時代を過した思出も深く、当時か らの学究的な性格はいよいよ深く30年の 年の重みを加えたのが現在の田口博士で ある。最近作物生理に関する大薯を出版 されたが、初孫を得られた以上のよろこ びであろうと思う。

以上出席された方の様子を伝えたいと 思って書いて見たが、思い違いのことも あると思われるが、許しを願いたい。

(昭和33.8.13 工藤記)

- ・伊藤武男先生の学長就任に伴い、その 後任学部長として林貞三先生が当選し 8月25日に新学部長として発命され た。
- 。9月4日伊藤新学長, 林新学部長から それぞれ全学生に対し学生の心がまえ や、大学行政に対する抱負を折込んだ 新任挨拶があった。
- ○8月1日から4日まで4日間にわたっ た認定講習と、8月11日から17日まで 7日間にわたって単位修得試験が高・ 中・小学校教員の素質と資格向上のた め母校で行われた。
- 8月10,11の両日にわたり信大全職員 のレクリエーションとして松本文理学 部で体育大会が, また8月23, 24の両

日にわたり同じく松本で北関東地区大 学職員のレクリエーションとして体育 大会が開催された。

- ○8月20日から9月2日まで二週間にわ たって近隣28高中学校に依頼して行わ れた教育実習が無事修了した。
- o 9月5, 6, 7の3日間にわたって北 関東地区大学学生の体育大会が野球、 庭球, 柔道等15種目について群馬大学 で開催され母校学生も多数参加した。
- ○8月11日東信千曲教育研究会の総会が 母校会議室で開かれ,総会後小泉清明 先生の「川の生態学」と題する講演が あった。
- o 9月5, 6, 7の3日間にわたって日 本学術会議第6部会が母校において開 催された。特に7日の全部会と母校共 催の公開講演会は下記のとおり学界一 流講師に演題は時局問題だけに関心が

もたれ聴講者は堂にあふれ超満員の盛 況であった。

公閒講演会

開会の辞

日本学術会議第六部部長

東京大学名誉教授 浅 見 与 七 酪農の諸問題

日本学術会議会員

名古屋大学教授 斉 藤 道 雄 新しい農薬について

日本学術会議会員

京都大学教授 井 上 吉 之 農業経営の焦点

日本学術会議会員

東京大学教授。近 蚕糸業の現状と将来の見透 日本製糸協会事務局長三三 閉会の辞

信州大学長 伊 藤 武 男

蒲生俊興先生 退官記念品代

(9月5日現在)

金 1,500円

П 正 (蚕21)

金 1,000円

西

玆 沢 勇 (盃17) 母袋 忠左衛門(蚕23) 覚(旧職)

金 600円

倉 沢 文 失(蚕19) 彰 (蚕27)

金 500円

宇 田 哲 郎 (蚕25) 小松原德治(蚕2) 本 清 松 (蚕16)

Ŧ 薬豊 蔵(蚕29)

Ŀ 義 一(蚕29)

俊 郎 (蚕21)

菊 池 六郎(蚕27)

市原 文 雄 (糸21) 金 400円

笠 原 義 人(糸15) 崎 正 夫(蚕28)

金 300円

木 内 席 一(蚕26)

荒 井 漸(蚕31)

池 H 滋 (歪32)

金 200円

前 岛 正 直(蚕21)

井 保(盃34)

室 賀 明 義(養蚕4)

合計金

19,900円 累計金

倉沢美徳先先 退官記念品代

12,000円

(9月5日現在)

金 1,500円

西田 正 (蚕21)

金 1.000円

金 沢 勇 (歪17) 倉 沢 文 夫(蚕19) 母袋 忠左術門 (蚕23)

永 井 觉(旧職)

金 500円

43. 田 哲 郎 (蚕25)

池 Ш 俊郎(蚕21)

宮. 本 清 松 (蚕16)

7 葉 111 蔵(蚕29)

īfī 文 雄 (糸21)

-- (蚕29) 虾 Ŀ

菊 池 六郎(蚕27)

金 400円

原 義 人(糸15)

Ħ 崎 正 夫(蚕28)

金 300円

漸 (蚕31) 荒 井

田 滋 (蛋32)

清水 敬四郎(学化1)

金 200円

前 島 正 直(蚕21)

森 本 彰 (蚕27)

井 保(蚕34)

合計金 11,300円 累計金 19,700円 本

会 日誌

7月下旬 白井助教授及び長島助教授 三丹支会臨時総会出席。

山口教授岐阜支会訪問。記 念事業について懇談す。

8月上旬 松尾助教授山形宮城及び北 奥の三支会を歴訪。記念事業について懇 談。

竹田助教授東海支会訪問。 [ii] 記念事業について懇談。

8月11日 東信千曲教育研究会の総会 開催。小泉清明教授の講演。臼田高校尾 崎教諭の研究発表。本部及び母校から多 数の先生臨席さる。

8月18日 上小支会幹事会野口理事長 及び中島理事出席。

五十周年記念 事業費申込

2,000円 土屋松寿 東 京 蚕2 1,000円 水出友雄 北海道 学糸4 界計 301,000円

員 動 静 (1958.8.23現在)

P		卒回	新住所
51 阿	官育造	糸 36	片倉工業KK退社 浦和市岸町1丁目99
27→111 遠	藤 利 治	盃 31	上田精神病院干曲挂医師(上田市下紺屋町花園)
220→188 /\	林 進	余 20	郡是製糸KK。江南工場長(愛知県江南市大字村久野)
56→48 林	St. —	糸 19	埼玉繊維工業KK 高崎撚糸工場長 (高崎市飯塚町1232)
64→168 /\	口 英 一	余 12	闘谷市下浜 (電) 闘谷 2853番 (日本シルクKK退社)
62 石	橋 渡	余 30	勤務先前通り (住所) 東京都世田谷区喜多見町2997
82→40 若	林宏一	糸33前	昭栄製糸KK 小山工場工務課長 (小山市福業郷1001)
40→25 網	田 征 夫	学糸3	昭栄製糸KK 一ノ関工場 (一ノ関市山ノ目町字竹山)
118→162 :比須	五郎右衛門	盃 17	松筑地方事務所蚕糸課長(松本市旭町 電松本214番)
25→40 III I	商袈裟信	学糸2	昭栄製糸KK 小山工場(小山市稲葉郷1001)
155 rp	沢 —	学糸5	長野県教委事務局,長水地方事務所(長野市)(住)埴科郡坂城町6539
205→224 猪	原良芳	糸 22	倉敷レイヨンKK 岡山工場 (岡山市海岸通り1丁目)
100 桜	井 利 雄	紡 26	勤務先前通り (住) 勝山市下元禄10の11
162→117 西	村 国 男	盃 29	長野県蚕業試験場上田支場(上田市常盤城)
131 関	口和失	化 5	傍陽小学校(小県郡傍陽村)
144→133 中,	高角太郎	蚕 14	菅平小中学校
大 大	井 武 俊、	学蚕1	旧姓小林、勤務先前通り
134→118 福	岛 規	農 4	上田市立神科小学校(上田市大字神科)住所前通り
123→114 消	水 周	化 9	上田高等学校(上田市新参町)(住)小県郡室賀村
136 营	下 敏 男	農 1	泉田中学校(小県郡泉田村)(住)上田市木町
103→108 小	林 正 人	紡 23	中込中学校(南佐久郡中込町)
214→219 JII	上守人	学糸1	動務先前通り 兵庫より三丹に記入する
236 長:	谷川浩三	紡 28	倉敷紡績KK 紡績部紡績課 (大阪市東区北久太郎町2丁目41)
159→242 岡	田蒸	学糸3	熊本県菊池市 鏡淵蚕糸KK 菊池工場
、68 佐	土 孝	学化4	勤務先前通り (住所) 東京都中野区宮園通り4の10 三国本館内
47—28 中里	.見 友三郎	学蚕1	群馬蚕糸山形出張所(山形県楯岡市)(自宅)村山市大久保甲205 森和雄方
50 吉	沢 和 弥	農 4	群馬県庁農政課(前橋市)
126 小	野邦、一	農 3	長野県小県郡本原小学校
225—220 永	井 覚	(旧職)	那是蚕種部蚕糸課長(綾部市青野)
237 小	山 祖 光	糸 16	福岡県農政部附覆糸指導所長(筑紫郡大野町)

編集後記

スポーツに、味覚にと全く楽しい季節になりました。会員 の皆様大いに浩然の気を養い、暑い夏に消耗した体力の恢復 に又増進に御精進の程を。

又今年も就職試験がやって参りました。ナベ底などと云は

れる不景気が続き学生も不安気です。関係諸先生の御苦労も 大変なものです。無事就職の出来ます様皆様の御指導御援助 の程をお願い致します。 (一之瀬記)

編集理事 田 口 亮 平 編集総務 小 山 長 雄 員 白井美明,美斉津利正,西山久雄,柳沢幸男, 三石賢, 一之瀬匡興